

# Jabber 自動更新のための CUCM TFTP の設定

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Jabber 自動更新コンフィギュレーション ファイル](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料に Jabber の自動更新機能のためのホスト XML ファイル Unified Communications Manager ( CUCM ) TFTPサーバにどのように on Cisco 記述されています。

CUCM 8.5 以降、TFTP サーバにアップロードされたすべてのファイルは TCP ポート 6970 で HTTP 経由で利用可能にできます。

注: 内蔵の HTTP サーバは静的コンテンツ専用設計されており、ダイナミックなコンテンツはサポートしていません。それはホストファイルに別途の Webサーバが必要クラスタで展開されるためではないように使用することができます。ファイルは意味する OS 管理 TFTP ファイル 管理 プログラム ページによってしかアップロードすることができません。フォトをホストするためにスケラブルではないかもしれませんことを ( Jabber 定型 資源 識別子 ( URI ) 代替フォト検索と併用するための )。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- [OS Administration TFTP File Management] ページ
- Cisco TFTP サービス

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUCM バージョン 8.5 および それ 以降に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

# 設定

## Jabber 自動更新コンフィギュレーション ファイル

この例は、Jabber の自動更新機能で使用する XML ファイルについて説明します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<JabberUpdate>
<LatestBuildNum>55781</LatestBuildNum>
<LatestVersion>10.6.1</LatestVersion>
<Message>

<![CDATA[<h3 class="topicTitle3">New and Changed Features in Release 10.6(1)</h3>
<p><strong>Certificate Validation for CTI Connections</strong></p>
<p>Cisco Jabber for Windows no longer uses CTI server certificate validation.</p>
<p><strong>Call with Edit</strong></p>
<p>A new<strong>Call with Edit</strong>&nbsp;menu option is available from the hub window
by right-clicking over a contact's name. Users can edit the number they are calling prior to
making the call. When users select a number from this menu option, the call number is copied
into the<strong>Search or Call</strong>&nbsp;field with the cursor automatically placed at
the front of the number. Users can edit the call number prior to making the call.</p>
<p>No configuration is required to enable this feature.</p>
<p><strong>Show Contact Pictures in Hub</strong></p>
<p>The Cisco Jabber client has renamed the<strong>Show Contact
Pictures</strong>&nbsp;option as<strong>Show Contact Pictures in Hub</strong>. This option
is available in the client under
the<strong>Options</strong>&nbsp;&gt;&nbsp;<strong>View</strong>&nbsp;menu.</p>
<p>Only the name of the option has changed, the behavior has not; selecting it displays users'
contact photos in the hub window on
the<strong>Contacts</strong>, &nbsp;<strong>Recents</strong>, and<strong>Voice
Messages</strong>&nbsp;tabs.</p>]]>

</Message>
<DownloadURL>http://ucmpub.domain.com:6970/CiscoJabberSetup.msi</DownloadURL>
</JabberUpdate>
```

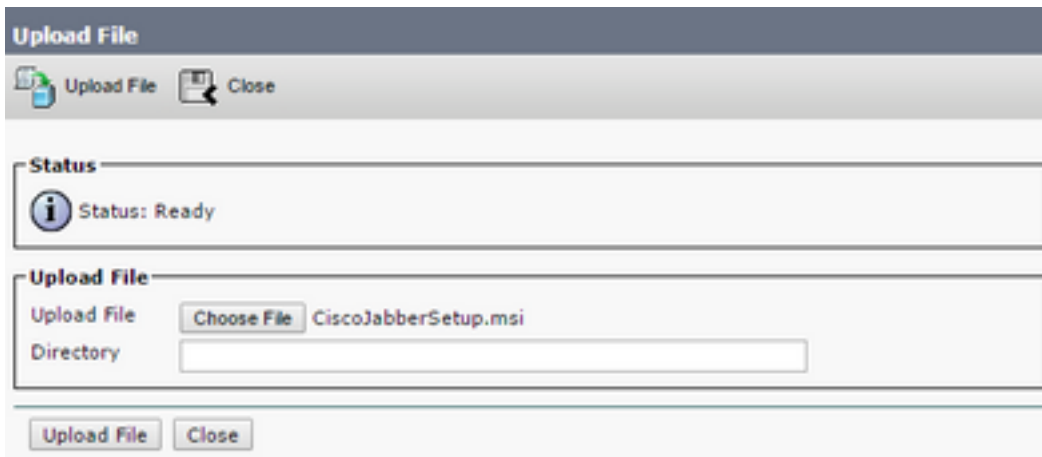
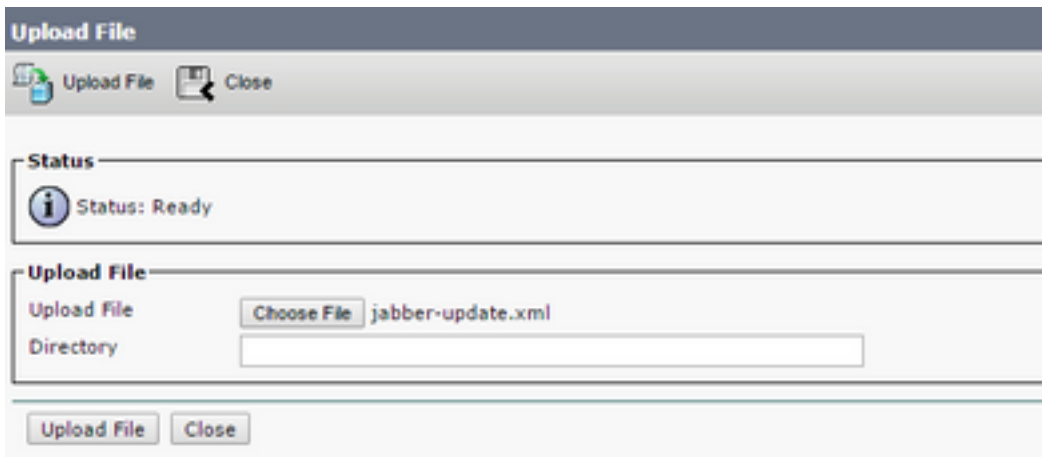
見てわかるように、DownloadURL は <http://ucmpub.domain.com:6970/CiscoJabberSetup.msi> を指されます。

**注:** URL でポート 6970 を使用することが重要です。

次のステップは Jabberconfig.xml ファイルのこの URL を参照することです:

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Client>
    <UpdateUrl>http://ucmpub.domain.com:6970/jabber-update.xml</UpdateUrl>
  </Client>
</config>
```

この jabber-config.xml ファイルは、通常どおり CUCM の [OS Administration TFTP File Management] にアップロードされます。次に、これらのイメージに示すように Jabberupdate.xml ファイルおよび Jabber 実行可能なファイルをアップロードして下さい。

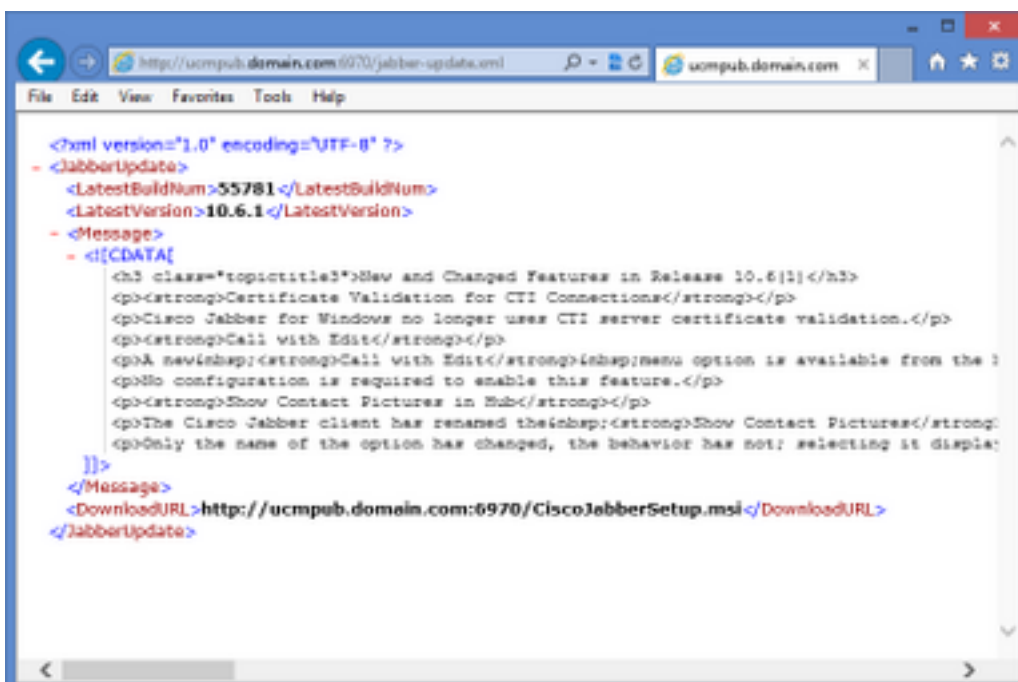


最終的には、Cisco Unified サービサビリティからの再始動 Cisco TFTP サービス。

## 確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

ファイルが HTTP によって利用できることを確認するために、このイメージに示すように <http://<CUCM IP 或 FQDN>:6970/jabber-update.xml> にブラウザをポイントして下さい。



Wireshark では、HTTP プロトコルは次の図に示すように、TCP ポート 6970 経由で **jabber-update.xml** を要求します。

No.	Time	Source	Destination	Source Port	Destination Port	Protocol	Length	Info
1990	13:45:28.193347000	PC	ucmpub.domain.com	53364	6970	HTTP	507	GET /jabber-update.xml HTTP/1.1
1995	13:45:28.194962000	ucmpub.domain.com	PC	6970	53364	HTTP	254	HTTP/1.1 200 OK (*/*)

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。